

市イメージキャラクター



©Studio Ghibli
つまんちゃん

小金井 2014.7/1 No.435 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

公民館主催講座 平成26年度後期おすすめ講座

本町分館 おすすめ講座「江戸東京の水辺緑地散策」

今年度は、秋(9・10月頃)にも水辺散策を開催します。浜離宮恩賜公園や江戸東京博物館付近を訪れ、4時間程歩く予定です。講師は、堀井光夫さん(玉川上水に親しむ会)。歴史解説を聞きながら江戸・東京の変遷を学び、現代まで続く都心の河川や港付近を散策して、秋の水辺景観を楽しみましょう。これまでと違った風景が見えてくるはずです。



緑分館 おすすめ講座「自然と共に生きる先端科学」

この講座は毎年公民館緑分館が東京農工大学にご協力いただいで実施している講座です。本年度は9月に全3回で開催し、農学部の方から私たちの日々の暮らしにまつわる事柄について教えていただきます。会場は東京農工大学科学博物館(小金井キャンパス)です。講座を受講して、博物館見学をしてみたいかがですか。詳しい内容・応募方法については8月15日号の市報をご覧ください。

東分館 おすすめ講座「オレ流おやし塾」

イクメン・共働き・主夫といった言葉が当たり前になり、男性の家庭や地域での役割も変化してきています。この講座では、色々な体験をすることによりこれからの自分の生き方に味付けができればと企画しています。昨年度は、12月から5回の講座を行い、本格バーベキュー体験、日の出山登山、クリスマス料理作り、三浦大根の収穫体験、ピザ焼き体験といったご狩りといったバラエティーに富んだ内容でした。今年度は9月からの実施を予定しています。内容等の詳細は市報、及び月刊こうみんかん等でお知らせいたします。



貫井南分館 おすすめ講座「樹木ウォッチング」

9月中旬からの予定で、初回を基本的な樹木の予備知識として座学、あとの2回は市内を北(桜町付近等)と南(野川公園)に分けて、それぞれ1回ずつ散策します。この講座は貫井南分館では初めての試みで、市内の自然を再発見し樹木に親しみをもってもらおうと企画しました。講師は市内在住の森林インストラクターの方を予定しています。月刊こうみんかん8月号、市報8月15日号に掲載、各公民館にポスター・チラシを掲示する予定です。



本館 おすすめ講座「武蔵野に育まれた近代文学」

本館の成人大学講座、最大の特徴は東京学芸大学の大教室を会場とする点です。講師はもちろん同大学の教授です。実際の大学と同じ本格的な講義を受けられることで、これまでも輝かしい歴史を刻んできました。内容は「武蔵野に育まれた近代文学」、小金井市や武蔵野地域を題材とした近代文学作品を各回1点ずつ取り上げ、詳しく解説していただきます。講師は石井正己さん(同大学教授)です。

今年度は来年3月に開催します。市報掲載は来年2月15日号、2月より公民館各館にてチラシ配布とポスター掲示をします。皆さま、ぜひご参加ください。

貫井北分館 おすすめ講座 企画準備中！

中学生から大学生などを対象にしたイベント、子育て講座、園芸講座を始め、高齢者学級を企画中です。募集は市報、月刊こうみんかん、公民館掲示板などでお知らせします。

● 施設改修のため公民館貫井南分館を臨時休館します。
● 防音対策の施設改修を行うため、8月1日(金)から14日(木)は、公民館貫井南分館は臨時的に休館します。なお、併設している児童館(遊戯室を除く)は開館します。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。
● 問合せ先 公民館貫井南分館 (☎042-383-1168)

第31回 貫井南センターまつり 5月10日(土)～11日(日)開催

担当の私は、今回で6回目のまつりでした。
初めて担当になった時は、本館にいた時と進め方もスタッフ体制にも違いがあり戸惑いがありました。

そんな中で周りの方々の協力を得ながら、回を重ねる毎に分かってきたこと、改善しなければと思うところ等に手を加えて、今の形になってきました。

まつり実施の根底にあるものは、参加者サークル等が主体的な姿勢をもち、その中に公民館も交じって一緒に作り上げていくのが理想だと考えています。

有り難いことに貫井南センターまつりでは、自治会方々の協力をいただいでパネルの搬入、搬出、組み立てを行ってくださるので、正に地域の方あつてのまつりとなっています。

地域で作上げるまつりとして、今回で2回目となったのが「子どもたちのおもてなしによるお茶席」でした。

公民館の社会教育と、学校教育の連携として昨年より始めたこの試みは第四小学校で行われている放課後子ども教室に通っている子どもたちと茶道の先生の協力を得て開催しました。



子どもたちも場所を変えての実施に少々、緊張気味のようでしたが、お茶会の雰囲気や和やかにしてくれました。

また、今回の公民館イベント「リコーダーコンサート」は、会場は満席で立ち見も出る盛況ぶりでした。女性5人(内1人は貫井南町在住)のリコーダーアンサンブルグループ、Spicaの息もぴったり巧みなテクニックで会場を魅了していました。



リコーダーと言えば小学校時代に音楽の授業で経験した記憶があるだけでしたが、この日、驚かされたのは用意されたリコーダーの種類でした。

手のひらサイズの小さい物から長さ2メートルを超えるものまで8種類以上のリコーダーが用意され、曲によって変えながら素晴らしい音色を聞かせてくれました。

芸術のつどい「アートフェスタ」 貫井北分館

手作りアートの作品の展示・販売、おやつの販売、ワークショップ、パフォーマンス、生演奏などを行います。

お気軽にお立ち寄りください。

と き 7月26日(土)
午前10時～午後5時

場 所 貫井北分館



第11回 福社会館まつり 5月17日(土)～18日(日)開催

5月17日(土)・18日(日)の2日間、出展、イベント、展示部門に計40団体以上が参加し盛大に開催されました。両日とも晴天に恵まれ、多くの方が来場されました。

初日オープニングは恒例の「踊るさち会」による健康おどりを皮切りに、藤森勝年実行委員長の挨拶、来賓挨拶の後、まつりの成功を祈り世話人の音頭で「エイエイオー」を声高らかに行いました。



屋外テントを中心に手作りの焼きそば、焼き菓子やジャム、手工芸品等の販売や、屋内では手品、フラやかっぱれ等の踊り、篠笛、ハーモニカ、カントリーミュージックの演奏等多彩な出し物が行われました。

公民館では特別イベント「てづくりゲームで楽しもう」を開催し、東京農工大学のマイクロコンピュータクラブの皆さんが作製したパソコンゲームを来場した子どもたちに楽しんでもらいました。



特別イベント「てづくりゲームで楽しもう」

また、特集「わたしの小さな小金井」と題して小金井第一小学校の児童が書いた絵を展示。一人ひとりの絵がつながるとひとつの長い絵になるスケールの大きい作品は見る人の目をくぎづけにしました。団体や来館者がそれぞれに交流と親睦を図りながらの楽しいおまつりとなりました。



ITサポートセンター こがねいパソコン相談室

ITサポートセンター運営協議会のボランティアスタッフの協力を得て、こがねいパソコン相談室を各公民館で開催しています。



パソコンの操作で困っている方、インターネットやメールの仕方など、パソコンに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

時 間 毎週日曜日と水曜日の午後1時から3時
※7月は現在お休みの予定はありません。

場 所 公民館本館・本町分館・貫井南分館・東分館・緑分館・貫井北分館(7/20～)

費 用 無料

対 象 市内在住・在勤・在学の方

問合先 公民館本館 ☎042-383-1184

第33回 本町分館まつり 5月24日(土)～25日(日)開催

本町分館に配属されてから2年目になります。今年は二日間ともお陰様で天気に恵まれました。

展示、芸能、発表、模擬店で各団体の催し物にはお客様が入り、日頃の成果を思う存分発表できたのではないかと思います。

昨年に引き続き、あん工房さんのカレーライスは好評でした。付け合わせのポテトサラダとカレーのバランスが絶妙です。まだ召し上がっていない方は、来年是非お待ちしております。

二日目の特別イベントは、ギターとフルートのミニコンサート。美しい音色に聞き入ってしまい、司会者という立場を忘れてしまいそうなほど、二つの楽器のハーモニーがすばらしかったです。皆様もくつろいだ午後のひとときを過ごせたのではないのでしょうか。

後片付けでは、全員のご協力の元、短時間で終わることができ、大変感謝しております。

分館まつりは、利用者や地域の方々のおまつりです。来年もさらに魅力あるおまつりになるように心がけたいです。



特別イベント「ギター・フルートコンサート」

5月から7月にかけて行う公民館まつりの開催報告を各分館の館長に感想と共にお願いしました。来月号では、東・緑分館を掲載します。

任期満了となる企画実行委員の皆さま

7月20日をもって第22期公民館企画実行委員が満了となります。公民館の活動を支えて下さった委員の皆さまから代表して3期満了の方、2名に一言を頂きました。

緑分館企画実行委員 定塚 邦彦

5年経ちました。(途中参加のため)長いようで短いようで。多くの職員、企画実行委員との出会い。多様な意見・考えの人たち。皆で企画・実施した後の達成感。うまく表現できませんが現役から外れてからの、この5年間の充実感。

しかし、市民や公民館にもっと貢献できる何かを積極的に行う意欲がまだまだ足りなかったように思います。

それでも、苦楽ないまぜの半生の中で特筆に値する期間だったと思います。

職員・企画実行委員の皆様、長らく私と付き合っていたいただきありがとうございます。

紙面をお借りして一言、公民館の仕事は多岐にわたっていますが、企画実行委員との仕事では企画講座の講師選定、交渉、面接など、成立後のPRレイアウト、受講生への対応などを数十もの講座をこなしています。ただ感謝のみ。

小金井市初参加! チャレンジデー実施結果!!

5月28日(水)に実施した「小金井チャレンジデー 2014」の参加者数及び参加率の結果は、以下のとおりでした。

小金井市 30,291人 (25.9%)

チャレンジデーとは日本全国で行われる「運動の日」のことで、15分以上運動やスポーツで身体活動を行った住民の数(参加率)をほぼ同じ人口の自治体と競い合います。



小金井市は今年初参加。対戦相手は福岡県の大牟田市になりました。

参加9年目のベテランで昨年の成績は、69.2%の市民が運動したという強豪です。

大牟田市の今年の成績は、85,194人 (69.8%)

小金井市は残念ながらそれを上回ることができませんでした。この結果を受け、市役所本庁舎のメインホールには、大牟田市旗を1週間掲揚することになりました。

強豪市を上回ることができませんでしたが、3万人を超える多くの市民等の参加を得ることができました。

来年も小金井市はチャレンジデーに挑戦する予定とのことです。今年参加した方もそうでない方も来年参加してみたいかがでしょうか。



貫井南分館企画実行委員 前川 正治

公民館貫井南分館の企画実行委員として6年が過ぎました。成人学校「江戸野菜に親しもう」に参加したのがきっかけでした。

企画実行委員の一人として貫井南分館・館長・職員・企画実行委員の方々との企画会議は地元の人たちが公民館の行事に関心を持ち、積極的に参加したいと思う企画づくりです。(結構熱が入りました。)

高齢者学級・成人学校・市民講座など年間を通じて貫井南分館としての企画がたくさんあります。

中でも成人学校「江戸野菜に親しもう」は年48回、夏・冬問わず永く続いている講座です。高齢者学級の「けやき学級」も5月開講11月まで22回の内容の充実した学級です。

このように講座や催しに参加された人達の楽しそうな顔を見ることが企画をしての一番嬉しい時でした。

公民館の行事に参加することも、地域での人との絆ができる素晴らしいことだと思います。

職員・企画実行委員の方々のご活躍、ご健康をお祈りいたします。

頭も使えて楽しい6年間ありがとうございました。

◆ 7月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
☆市民映画会 市報 7月1日号に詳細					☆高齢者学級準備会 ☆若者コーナー 市報 7月1日号に詳細

市民講座 「小金井の歴史、再発見！」報告 貫井北分館



今、自分が住んでいる場所の60年前の姿を想像できますか？

多田さんのお話を伺い、通学路にあった不思議な道、プールは無いのに「プール前」と書かれたバス停など、歴史を知ること一つひとつ謎が解けると共に、分かりやすいお話と沢山の写真で、いつのまにか60年前にタイムスリップしてしまいました。

自分が生まれる何十年も前の街の姿を知るとはとても新鮮で、少しだけいつもの道が特別なものになりました。

また、日々生活している街の歴史は、授業の歴史とは違い、とても親近感を感じるものでした。 (参加者)

第32期小金井市公民館運営審議会

第8回審議会の報告(開催日平成26年5月22日)

内容

(1) 報告事項

- ア 都公連委員部会運営委員会、研修会について
- イ 三者懇談会について
- ウ 公民館事業の報告について
- エ その他

(2) 審議事項

- ア 公民館事業の計画について
- イ 科学の祭典の準備について
- ウ 三者合同会議の講師の選定について
- エ 生涯学習推進計画について

心に残った一冊「ロンググッドバイ」

レイモンド・チャンドラー著 村上春樹 訳

To say good-bye is to die a little. さよならを言うのは、少しだけ死ぬことだ。

この小説でよく知られるフレーズ。諸説あるが、自分の心の一部となった人を失い、過去の自分に比べて、その人の分だけ自分の一部が失われてしまうことを「少しだけ死ぬこと」と解するのが腑に落ちる。生きていくことは少しだけ死ぬことの繰り返しでもある。

ハードボイルド小説として知られるが、フィリップ・マーロウとテリー・レノックスのはかない友情の物語でもある。

小説の冒頭、酩酊し人事不省の状態で開催したテリーは、しばしの間マーロウと親しく交わるが、殺人事件の犯人となって逃亡し死んでしまう。事件の真相を追うマーロウは、背景にある企てに気づき、テリー自身を含め隠匿された真実をあぶりだしていく。顔かたちを変えてエレガントなメキシコ人として現れたテリーは最後のシーンで再び去っていく。マーロウが偽りと知らずテリーの死の際に言った「さよなら」は、本当の別れでは口にされず、「さよならは言いたくない。さよならは、まだ心が通っていたときにすでに口にした」と突き放す。



80年代半ばに村上春樹に出会い、彼が紹介してきた米国作家をフォローしてきたが、彼の言葉を借りれば「適当なページを開いて拾い読み」しても楽しめる完成度である。マーロウの寸鉄人を刺すようなセリフ、各章を締めくくる珠玉の文章は、次のステージへの期待感をいやがうえにも高めるとともに、捨てるところのない見事な章建てを構成している。原文にあたりたいと思い、ついついペーパーブックを買ってしまうことになる。

マーロウの視点で見た世界、そして一人称で語られる物語。彼が冷徹に見た外的世界の詳細な描写なのだが、心的世界を描こうとしないだけ、はかなく潰えてしまった無償の友情が深く静かに描かれている。

You're not the only guy in the world that has no price tag, Marlowe. この世の中で値札のついていない人間は君ひとりじゃないのだよ、マーロウ

本町在住 田中

古紙配合再生紙を使用しています。